


整理番号	HT30195	分野	化学	キーワード	呈色 発光
------	---------	----	----	-------	-------

研究機関名	京都府立大学				
プログラム名	光る分子、色が変わる分子を作ろう				
先生(代表者)	椿 一典(つばき かずのり) 生命環境科学研究科・教授				
自己紹介	有機化学が大好きで、いろんな薬品を混ぜ新しい反応を開発したり、新しい性質をもつ化合物を合成したりしています。誰も合成したことがない化合物を合成し、その化合物が将来的に人の役に立てばと思っています。				
開催日時・募集対象	平成30年8月4日(土)	受講対象者	高校生	募集人数	20名
集合場所・時間	下鴨キャンパス1号館1階ロビー集合		(集合時間)	9:30~10:00	
開催会場	京都府立大学下鴨キャンパス 住所: 〒606-8522 京都府京都市左京区下鴨半木町 1-5 アクセスマップ URL: http://www.kpu.ac.jp/contents_detail.php?co=kak&frmId=28				
内 容					
化学物質というと皆さんは、何を想像しますか？なんだか怖そう、体に悪そうというイメージを持っていますか？しかし、皆さんの身の回りを見てみましょう。多くの物が化学物質でできています。病気になったときに飲むお薬も化学物質です。私たちは日頃、化学から大きな恵みをうけて生活しています。本プログラムでは、まず化学構造の書き方から説明し、構造式から分子の性質がある程度判ることを勉強します。その後、光る分子や色が変わる分子を合成します。講義と実験を通じて、有機化学の面白さと有用さを体験しましょう。					
スケジュール				持 ち 物	
9:30~10:00	受付(下鴨キャンパス1号館1階ロビー集合)			筆記用具	
10:00~10:20	開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)			タオル	
10:20~11:00	講義①「化学構造式の書き方と分子の構造」			<div>特 記 事 項</div> 使い捨て白衣、保護メガネ、保護手袋などは、用意します。また受講者二人につき一名の大学院生がアシスタントとして付きます。	
11:00~11:10	休憩(と実験の準備)				
11:10~11:20	講義②「実験の目的と諸注意」				
11:20~12:00	実験①「呈色色素と蛍光色素を作ろう」				
12:00~13:10	昼食(大学内、研究室見学)				
13:10~15:00	実験②「ルミノールを合成しよう」 実験③「TCPO を合成しよう」				
15:00~15:30	休憩(クッキータイム)				
15:30~16:00	実験④「化学発光に挑戦しよう」				
16:00~16:30	まとめ				
16:30~16:50	修了式(アンケート記入、未来博士号授与)				
16:50~	解散				

《お申込先》

参加をご希望の方は以下の項目を記入のうえ、e-mail (tsubaki@kpu.ac.jp) にて
椿まで送ってください（送っていただいた情報は厳重に管理いたします）。

- ①氏名（フリガナ）
- ②生年月日、性別
- ③連絡先住所（郵便番号）
- ④電話番号（必要に応じて FAX）
- ⑤e-mail
- ⑥在学する学校名、学年
- ⑦保護者・学校関係者の参観・見学の有無
（「有」の場合、参観・見学者の氏名（フリガナ））
- ⑧保護者からの参加同意

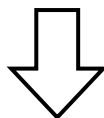
《お問合せ》

所 属 ・ 氏 名 :	京都府立大学・大学院生命環境科学研究科／椿一典(つばきかずのり)
住 所 :	京都市左京区下鴨半木町 1-5
T E L 番 号 :	075-703-5902
F A X 番 号 :	075-703-5902
E - m a i l :	tsubaki@kpu.ac.jp
申 込 締 切 日 :	平成30年 7 月 17 日(火)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生（代表者）の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
椿 一典	H26-H28	基盤研究(B)	26293005	呈色型および発光型機能性色素の 開発
椿 一典	H22-H24	基盤研究(B)	22390003	生体内ポリアミン類の迅速定量法の 開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。